

施設名	八王子市立中野保育園
------------	------------

観点	評価項目	6月			9月			12月			期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	定員に基づく常勤保育士配置数9人/月	B		B		B		B		B		
	職員会議1回/月	A	月2回以上実施		A	月2回以上実施		A	月2回以上実施		A	月2回以上実施	
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経営がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか【確認資料:通帳】	B		B		B		B		B		
		資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【確認資料:独立した会計帳簿】	B		B		B		B		B		
		利用料金、使用料等の徴収は適正に行われているか【確認資料:独立した会計帳簿・通帳・徴収簿・現金出納帳・領収書控】	B		B		B		B		B		
		剰余金の処理が適正か【確認資料:独立した会計帳簿】	B		B		B		B		B		
	収支計画が適正であること	B		B		B		B		B		B	
	定性的	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか【確認資料:事業計画書・月報・職員シフト表・事業報告書・研修計画・研修報告書】	A	保育士不足のなか障害児の受入体制を維持する点を評価		A	保育士不足のなか障害児の受入体制を維持する点を評価		A	保育士不足のなか障害児の受入体制を維持する点を評価		A	保育士不足のなか障害児の受入体制を維持する点を評価
		職員会議を定期的に開催し、施設の運営方針及びその内容を十分協議し、民主的運営が図られているか【確認資料:職員会議録】	B		B		B		B		B		
		給与の支出が適切に行われているか【確認資料:給与規程・資金台帳】	B		B		B		B		B		
保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか【確認資料:事業計画書(人員配置計画)・月報・事業報告書】		B		B		B		B		B			
職員に対する処遇改善が適切に実施されているか【確認資料:処遇改善計画書・資金台帳・資金改善実績報告書】		B		B		B		B		B			
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか		B		B		B		B		B		B	
業務の一括委託が行われていないか【確認資料:第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・独立した会計帳簿】		B		B		B		B		B		B	
園施設で運営しているにおいて公共性、公平性、公正性が	定量的	開園日数294日/年	B		B		B		B		B		
	給食の提供1回/日(食物アレルギーに伴う除去食又は代替食対象児童2人)	B		B		B		B		B			
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開園日数、開園時間は守られているか【確認資料:日報・月報・事業報告書】	B		B		B		B		B		
		減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合)【確認資料:減免申請書・減免申請に係る帳簿】	B		B		B		B		B		
	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	B		B		B		B		B		B	
	修繕等、施設保全が適切に行われているか【確認資料:修繕申請書類・契約書類・事業報告書・実地調査】	B		B		B		B		B			
備品の管理が適切に行われているか【確認資料:備品購入申請書類・備品台帳・実地調査】	B		B		B		B		B				
か施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られている	定量的	入所児童数85人/月	A	定員弾力化児童数3人	A	定員弾力化児童数3人	A	定員弾力化児童数4人	A	定員弾力化児童数3人			
	利用者満足度80%以上										B		
	東京都福祉サービス第三者評価結果における肯定的評価の割合80%以上(指定期間の1年目及び3年目は必ず実施)												
	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B		B		B		B		B		
		第三者評価及び利用者満足度調査の結果を業務改善につなげる取組がなされているか【確認資料:職員会議録、ヒアリング等】	B		B		B		B		B		
利用者及び地域住民との信頼関係を構築すること。	利用者との個人面談、クラス懇話会、保育参観等を通じて、利用者の意見を聴くとともに、保育方針、保育内容を説明し、利用者の理解を求めているか【確認資料:事業計画書・面談等記録・事業報告書・実地調査】	B		B		B		B		B			
	地域の子育て家庭を支援するため、園庭開放、子育てひろばイベント等を活用し、地域に開かれた保育園として、地域の子育て力の向上に貢献しているか【確認資料:事業計画書・事業報告書・参加者名簿・活動記録・実地調査】	B		B		B		B		B			
	近隣自治会や関係機関と交流・協力・連携・協働するなどし、地域の実情を踏まえた施設運営を行っているか【確認資料:事業計画書・事業報告書・活動記録・実地調査】	B		B		B		B		B			
て行施設に於けるか、経済的な節減が図られている	定量的	電気使用量(園児あたり換算)27~29年度平均比100%以下/年									B		
	ガス使用量(園児あたり換算)27~29年度平均比100%以下/年										B		
	水道使用量(園児あたり換算)27~29年度平均比100%以下/年										B		
	給食残さ排出量(園児あたり換算)27~29年度平均比100%以下/年									A	83.3%(27~29年度平均1.18g/人月)に対し30年度0.98g/人月)		
行事の準備が図られている	定量的	各種便り(園便り、給食便り等)の発行1回/月	B		B		B		B		B		
	児童の健康診断2回/年										B		
ら園に於けるか、具体的な事業計画に基づいて事業が	定性的	年、期、月などの長期的な指導計画と、それに関連しながら、より具体的な児童の生活に即した週又は日などの短期的な指導計画を作成して、保育が適切に展開されているか【確認資料:全体的な計画・指導計画・保育日誌・連絡帳】	B		B		B		B		B		
	年間行事予定を作成し、特色ある行事を計画的に実施しているか【確認資料:年間行事予定表・行事記録・行事アンケート】	B		B		B		B		B			
	保健計画を作成し、児童の健康管理が図られているか【確認資料:保健計画・健康記録簿・健康日誌・その他児童の健康管理に関する書類】	B		B		B		B		B			
	食育計画を作成し、献立表に基づき給食が提供されているか【確認資料:食育計画・献立表・その他給食の提供に関する書類】	A	食を通じた非日常体験や産地や鮮度に配慮した食材を用いた給食など、食育活動全般に渡る取組を評価		A	食を通じた非日常体験や産地や鮮度に配慮した食材を用いた給食など、食育活動全般に渡る取組を評価		A	食を通じた非日常体験や産地や鮮度に配慮した食材を用いた給食など、食育活動全般に渡る取組を評価		A	食を通じた非日常体験や産地や鮮度に配慮した食材を用いた給食など、食育活動全般に渡る取組を評価	
資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B	「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	B		B		B		B		B		
ら園に於けるか、適切な安全管理が図	定量的	避難訓練1回/月	B		B		B		B		B		
	施設の安全点検1回以上/月	A	月2回以上実施		A	月2回以上実施		A	月2回以上実施		A	月2回以上実施	
	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか【確認資料:マニュアル・契約書・同意書・実地調査】	B		B		B		B		B		
指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料:保険証券】											B		
緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が図られていること	A	食物アレルギー児に対するきめ細かい組織体制、大規模災害を想定した訓練実施計画など、危機意識の高い取組を評価		A	食物アレルギー児に対するきめ細かい組織体制、大規模災害を想定した訓練実施計画など、危機意識の高い取組を評価		A	食物アレルギー児に対するきめ細かい組織体制、大規模災害を想定した訓練実施計画など、危機意識の高い取組を評価		A	食物アレルギー児に対するきめ細かい組織体制、大規模災害を想定した訓練実施計画など、危機意識の高い取組を評価		

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容を踏まえ、事業計画に基づく保育所の管理運営が適正に行われている。安全・健康・絆を柱に、子どもの個性を尊重した保育を心掛けるなかで、利用者満足度調査では、保育サービスの内容、家庭との信頼関係、子どもの気持ちに寄り添った対応に関する設問で高評価を獲得している。また、施設の安全対策に関する設問における保護者意見を踏まえ、懸念のセキュリティシステムを導入することで施設の安全性向上を図り、保護者要望に真摯に向き合う姿勢が確認できる。地域社会と交流を図る活動では、在宅子育て家庭向けの子育て支援の取組や保幼小連携事業などが継続されているため、これらを契機とした地域子育て支援機能のより一層の充実に期待したい。